

やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞

vol.184
2021.7

〔特集〕

心静かに…写経のすすめ …… 1・2ページ

「びっくり!？」それとも「やっぱり!？」

皆さんのお墓の周りは○型? …… 3ページ

お仏壇のお手入れは

ご先祖様と会話をしながらお掃除を …… 4ページ

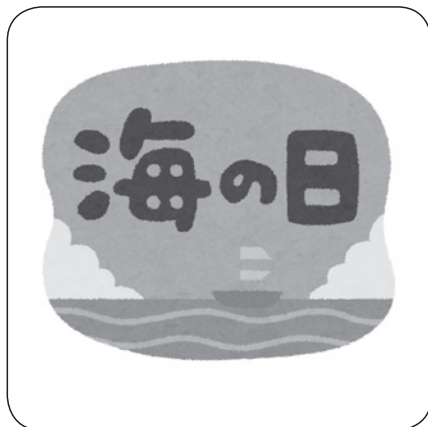
Oh! 型モニター? 悪戦苦闘の研修会

大型モニターでお墓づくりをご提案! …… 5ページ

お客様の声 …… 6ページ

「大切な人に贈りたい」語りつがれる絵本

良きご縁をありがとうございます …… 7ページ



今年の「海の日」は7月22日



「海の日」は、1995年に制定され1996年より施行された国民の祝日の一つです。海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願うことを趣旨としています。子供のころは海の日あたりから夏休みになるので待ち遠しかった思い出があります。

そんな「海の日」ですが、通常は7月の第3月曜日です。しかし今年はおリンピック開催にあわせ7月22日（木曜日）に移動します。同じく本来10月の第2月曜日のスポーツの日が7月23日に移動します。

4連休となって嬉しい方も多いはず! でも10月の祝日がなくなるのは残念ですね…

〔特集〕

心静かに… 写経のすすめ



こんにちは。青森店営業部の平田です。

お盆まであと少しです。この先1か月は私たち営業は勿論、お墓の工事に関わる工事部の皆さんは本当に大変な時期です。暑さに負けず頑張りましょう！！

さて今回は、そんな暑さも静かな心で乗り切れるように？・・・「写経」についてお話いたします。

仏教の経典を書写することを写経（しゃきょう）と言います。中でも、最もポピュラーなものは、皆さんご存知の般若心経だと思われます。

「心身を清める修行」として使われる方もあるようですし、最近の研究では、脳の活性化に効果があることもわかってきました。物を書くという行動は脳に刺激を与え、またお手本どおり写すために視覚やイメージ力を養うという効果も得られるようです。

写経の作法って・・・??

まずは・・・

- ① 手を洗ってから写経に入る
- ② 毛筆で書写する・・・(筆ペンはNGです。)
- ③ 硯(すすり)で刷った墨で書写する・・・(墨汁はNGです。)



写経は、硯で墨を擦る段階から既に始まっていると言われます。なぜ筆ペンや墨汁でなく硯で擦る墨で書写するのか。これには意味があるようで、生命の元は炭素と水素が結合したものの、故に写経は必ず水で墨を擦って筆で書かなければならないのだそうです。

少し難しい話になりますが、写経をすると、その紙の上にプラス・マイナスの生命波動が充満して生きた般若心経となり、天地左右を結ぶ生命波動発生のプロトタイプとなるそうです。へえ～！

無心で書写する・・・これが一番大事！

そもそも写経というのは、それを実践することで様々な困難を乗り越えたり、窮地から救われたりという目に見えない功德を得ることが出来る行いだということです。

ただし、最初から功德を期待した心で書かない・・・これが一番大事です。写経における無心とは、邪心を捨て、書くことだけに没頭するということで、天啓や功德は欲や私心のあるところには通じません。

う～ん難しい！

書店に行くと、般若心経の書籍が多数置かれています。ただ先入観を入れることがかえって邪魔になる場合もあります。そのため、意味は分からなくてもいいので、まずは実践してみましょう。



何よりも継続すること



写経には様々な作法などもありますが、真摯に取り組む気持ちがあれば、あとでアッと気づくことが現れてくるかもしれません。大切なことは3日坊主で終わることがないように、コツコツと継続することなのでしょうね。

困ったときだけ写経に頼ってみたり、気が向かなくなって長期中断してしまったのでは、なかなか功德を得ることができないと思います。まずは無心で続けることをお勧めします。

最後になりますが、写経に限らず、心静かに何も考えない時間をもつということが、今の時代には必要なのかもしれないですね。

「びっくり!？」それとも「やっぱり!？」

皆さんのお墓の 周りは○型?



これからの季節、お盆やお彼岸などお墓参りに行かれることもあろうかと思います。そんな時ふとあたりを見渡すと・・・皆さんのお墓の周りにはどのような形のお墓が建っておりますか?おそらく圧倒的に多いのは、従来の「和型」というお墓かと思われます。

実は、お墓を建てる習慣が一般的になったのは、檀家制度が確立した江戸時代中期のことです。当初は個人または夫婦としてのお墓でしたが、明治時代中期以降の家制度によって「家単位」のお墓が定着していきました。

その後100年ほどは、お墓といえば縦長の三段になった「和型」が主流でしたが、1965年頃の高度経済成長期以降はついにお墓にも洋風化の波が訪れ、お墓の世界にも「洋型」が登場したということです。

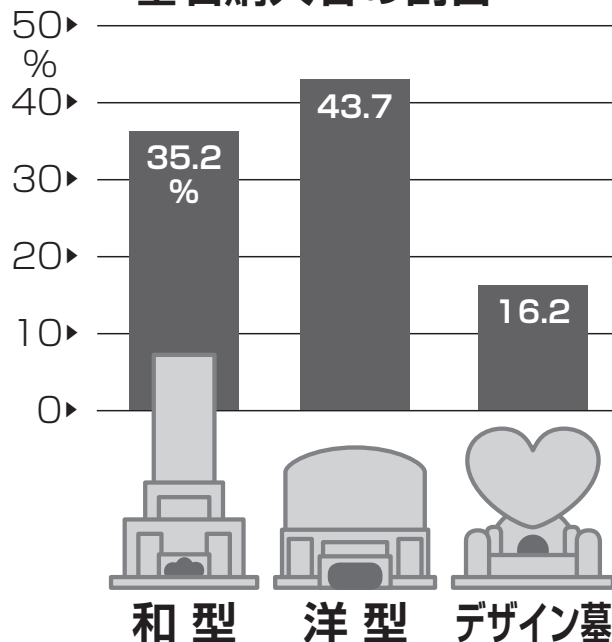
一般社団法人「全国優良石材店の会」の調査によりますと、2015年(平成27年)に初めて洋型が和型を逆転するという、興味深い結果が出ております。右のグラフをご覧ください。2018年には和型と比較して、いわゆる「洋型・デザイン墓」の割合が60%にまで増加しております。

私たちやまと石材の昨年度の墓石建立実績も、なんと77%の方が「洋型」で建立されております。

各ご家庭の生活様式の変化や多様化が、お墓づくりにまでおよんでいるんですね。

この事実、あなた様は「びっくり!」と思われるか、それとも「やっぱり!」と感じるか。いずれにせよ、形にとらわれずにご先祖様のご供養をされることが一番かと思われま

墓石購入者の割合



(2018年。全国優良石材店の会調べ)

お仏壇のお手入れは

ご先祖様と会話を しながらお掃除を・・・



ショールーム課 佐藤 江里子

早いもので、お盆まであと1か月となりました。
そこで今回はお仏壇のお手入れについてお話しいたします。

ちょっとした気遣いが長持ちの秘訣です

お仏壇は屋根がついているので目に見えて埃が積もるということはないと思います。とは言っても埃や煤などが混じりさらには湿気も含んでだんだん取れにくい汚れとなることがあります。家も車も手入れをしないとでは劣化の速さが違いますものね。ちょっとした気遣いが長持ちの秘訣なんですね。

難しく考えずに心を込めて

基本的には乾いたやわらかい布や専用のブラシなどでやさしく埃を落とす程度でいいようです。せっかくの装飾や仕上げが傷んではいけませんので、水や洗剤は避けた方がいいかもしれません。お仏壇のお掃除はあまり難しく考えずに心を込めて、たまには話しかけながらやって頂くと仏様も喜んでくれるかもしれませんね。



チョットおまけのおはなし

お掃除のために仏具を取り出したあと、配置がわからなくなることがあります。そこで先に写真を撮っておくと飾るときに悩まなくても済むかもしれません。仏具のお手入れも普段は優しく埃をとっていただけのだけでもOKです。真鍮製の仏具などの錆は専用の洗剤がありますので、ご不安な場合はお気軽にご相談ください。

Oh! 型モニター? 悪戦苦闘の研修会

大型モニターで お墓づくりをご提案!



青森店営業部 宮崎 陽

こんにちは! 季節が移り替わるのも早いもので、心地よい春の日差しからあっという間に夏ですね“青森ってこんなにも暑かったっけ?”と毎日の様にぐだめしている宮崎です。

さて、今回お話をさせて頂くのは3月に行われた「春の展示会に向けた社内研修」になります。

既に体験された方もいらっしゃると思いますが、青森店・弘前店共に70インチの大型モニターを導入致しました!

「モニター!?!...それってお墓に使うの?」と思われるかもしれません。そうですね。でも、この大型モニターを導入した一番のポイントは何と言っても大画面で墓石の完成イメージを、その場でシュミレーション出来る!ということです!!

その為にはやはり使い方を覚えないといけない訳で、営業の皆さんが集合して研修を行いました。しかしこれがとてつもなく大変なミッションでした。

研修中に飛び交うのは「どこ押すの?」「戻るにはどうしたらいい?」という声の嵐。幾度となく同じ質問が飛んできます...泣

お察しの通り、今回の一番の難題はいわゆる“おじさま”達への操作説明なんです!(笑)え?私たち若者チームですか?もちろん5分で覚えました。

導入から早くも3か月が過ぎ、多くのお客様と大型モニターを通じてお墓づくりを体験させていただきましたが、「見やすい」「わかりやすい」という非常に好意的なお声を頂戴しております。

「おじさま」達の成長と共にまだの方は是非一度大型モニターを体験しにご来場ください。



青森・弘前、各店で行われた研修会。手足のようにモニターを操る若者たち!

お客様の声

やまと石材に大切なお墓づくりを託していただいたお客様からのおたよりです。
本当にありがとうございました。

一枚のチラシが ご縁の始まりでした

千葉県・S様

この度はお墓建立に際したいへん
お世話になり心より感謝申し上げます。
思えば弘前在住の妹が持ってきた一枚の
チラシがご縁でした。
コロナ禍の中、千葉に住んでいるため、
弘前に行く事もできず、電話と書類の
やり取りだけで完成までこぎつけた事は
やまと石材様、担当の伊藤様の丁寧な
お仕事ぶりによるものと感謝致しております。
完成したお墓はまだ見ておりませんが、
伊藤様からの写真と妹からの写真で満足
しております。来年の一周忌に納骨か
できれば良いなと思っております。
御社のますますのご清栄を心より
お祈り申し上げます。
ありがとうございました。



気持ちも明るくなりそうな白系の御影石をお選び
いただきました。シンプルながらも広々とした、お
墓参りのしやすいお墓が完成いたしました。

担当者からひとこと



弘前店営業部 伊藤 杏美

S様、この度は大切な
お墓づくりを当社に託し
ていただき誠にありがと
うございました。周りの
お墓の雰囲気に合わせて
広々としつつすっきりと
したお墓を建てさせてい
ただきました。S様にご
満足いただき私も大変嬉しく思います。今後とも何
卒宜しくお願い致します。



「大切な人に贈りたい」 いつまでも語りつがれる絵本

「スーホーの白い馬」

モンゴル民話 大塚勇三／再話 赤羽末吉／画

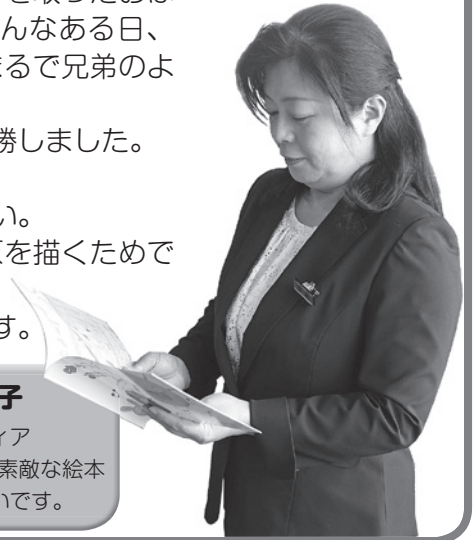
モンゴルの伝統楽器「馬頭琴」はどうしてできたのでしょうか。それは・・・
昔、モンゴルの草原にスーホーという貧しい羊飼いの少年がいました。年を取ったおばあさんと二人暮らしのスーホーは、おばあさんを助けよく働きました。そんなある日、スーホーは生まれたばかりの白い馬を見つけました。スーホーはこの馬をまるで兄弟のよう大切に育てました。

立派に成長したスーホーと白い馬は町で開かれた競馬大会に参加して、優勝しました。ところが、スーホーは叩きのめされ、白い馬は取り上げられて・・・。
読む人の心に深い感動を与える赤羽末吉さんの渾身の一作をお楽しみ下さい。
この絵本は縦長から横長に作り直されました。それはモンゴルノの大平原を描くためです。モンゴル特有の二重に架かる大きな虹が大平原の雄大さを一層引き立てます。作り手側の妥協を許さない強い思いが伝わってくるような傑作絵本です。

雨上がりのあと、ふと空を見上げると大きな虹がかかっている時があります。そんな時私は「スーホーの白い馬」を思い出すことがあります。虹を見ると何となく得したような、幸せな気分になるのは私だけ・・・!?

ショールーム課・佐藤江里子

絵本の読み聞かせボランティアを続けて10数年。心に響く素敵な絵本を少しでも紹介できれば幸いです。



良きご縁をありがとうございます

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-------|--------|---------|---------|--------|-------|-------|---------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|--------|---------|-------|----------|-------|--------|-------|
| 北津軽郡板柳町 | 弘前市石渡 | 黒石市ちとせ | 青森市自由ヶ丘 | 北津軽郡板柳町 | 黒石市牡丹平 | 弘前市青山 | 青森市大野 | 五所川原市磯松 | 弘前市樹木 | 弘前市大久保 | 弘前市城東 | むつ市大曲 | 弘前市千年 | 青森市石江 | 東津軽郡平内町 | 弘前市藤代 | 黒石市境松 | 弘前市早稲田 | 北津軽郡板柳町 | 青森市港町 | 東津軽郡外ヶ浜町 | 青森市浪岡 | つがる市木造 | 弘前市取上 |
| 外川様 | 田中様 | 櫻庭様 | 小栗山様 | 佐藤様 | 福士様 | 白川様 | 佐藤様 | 秋田様 | 菅原様 | 山田様 | 高山様 | 川口様 | 中島様 | 佐藤様 | 千代谷様 | 館浦様 | 花田様 | 八木橋様 | 八木橋様 | 秋田様 | 石岡様 | 成田様 | 中野様 | 高木様 |

※今月号で紹介しきれなかったお客様は、また次の機会に掲載いたします。

ご意見・ご感想・質問どんなことでもお便り下さい。

Landwork 日本最大36店舗の
ランドワークグループ 墓石専門店グループ



【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388
【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatosekizai.com 青森 やまと石材 検索

〒036-8076

弘前市境関1-1-1
(株)やまと石材(弘前店)
やまと通信係

〒030-0946

青森市古館1-13-13
(株)やまと石材(青森本店)
やまと通信係

編集後記

先日から営業部は衣替えを行い、半袖シャツを着ております。自分で言うのも何ですが、とても爽やかで気分も上々です。でもちょっと気温が下がると肌寒さも感じます。これは年齢的な影響もあるのでしょうか。不安です。(佐々木)